

令和5（2023）年度不破地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域は垂井町、関ヶ原町の2町からなり、岐阜県の南西部に位置する。

垂井町の農業生産は、水稻の作付を主体としており、転換作物に小麦、大豆、加工用米、飼料用米、加工・業務用野菜等がある。大部分の水田は、ほ場整備が実施され土地利用型農業が進められているが、区画の小さな水田も一部残っているほか、中山間地域では、鳥獣被害を受ける水田も少なくない。

関ヶ原町の農業生産は、水稻の作付を主体としており、転換作物にそば、小麦、大豆、加工用米、飼料用米、野菜等がある。ほ場区画が小さく、基盤整備田の一部で暗渠排水の整備が進められているものの湿田が多く、麦、大豆等土地利用型農業について困難を極めるほ場が多い。また、鳥獣被害が多いため転換作物の作付及び定着には不利な条件下にあり、土地利用率が低い。

このため、当地域においては、金網柵設置による鳥獣対策を推進し、収益につながる対策を支援しているが、一方で農業従事者の減少や高齢化による担い手確保と育成が課題となっている。今後も積極的に担い手の確保に努め、効率的かつ収益性の高い農業の実現に向けて本対策を推進していく。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

（1）高収益作物の導入

当地域では、これまでも国の産地交付金を活用して、主食用米からの作付転換の推進などを進めるとともに、生産性が向上する栽培技術の普及を図ることで、水田収益力強化による経営安定化につなげている。

一方で、中山間地域等では鳥獣被害が多く、転換作物の作付や定着に不利な条件ではあるが、金網柵等の設置による鳥獣対策を推進し、需要のある野菜の生産等を推進している。

稲作農業者の更なる経営安定のため、地域振興作物の作付による稲作農業者の複合経営化の推進が必要である一方、支援体制の強化や機械化による安定生産、安定供給が課題である。また、鳥獣被害等が多く、農地集積等が進めづらい地域においては、引き続き鳥獣対策を実施し、野菜等の生産を推進するとともに、直売所等への出荷を目的とした所得向上につながる取組を支援する必要がある。

このため、当地域では農協、農業者、市町村が協力し、課題解決に向けて取り組む。

（2）転換作物等の付加価値の向上

当協議会における田本地面積は、耕作面積の87.4%を占める1,200haであり、約6割が中山間地域となっている。このような状況下で主食用米の作付面積は404haと水田面積の約34%にあたり、主食用米の作付面積は減少していないが、麦、大豆、飼料用米、加工用米などへの転換は進んでいる。

転換が進む一方、課題として、低コスト生産への取組がある。麦大豆では、ブロックローテーションによる水田高度化の取組を推進しているが、更なる団地化等の取組による拡大、非主食用米では、直播栽培の技術導入など、低コスト化の取組を加速する。

また、転換作物についても需要に応じた取組が重要であり、麦大豆では需要者等の要望に応える品質や収量の確保に務め、安定供給できる体制を進めていく。非主食用米では複数年契約の推進により、更なる安定供給体制の普及を図る。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

田本地面積は耕地面積の87.4%を占める1,200haであり、約6割が中山間地域である。また、自己保全管理など約80haの不作付地が存在しており、現在も高齢化や鳥獣被害などの影響もあり増加傾向にある。

水田では農地集積が進んでいるが、労働力を要する果樹などの畑地では集積が遅れており、農地の利用状況の可視化や労働力の確保が課題となっている。

水田利用率を高め、不作付地の発生防止・解消をするため、地域ではブロックローテーションによる水田高度化を推進している。複数の作物の組合せによる二毛作などにより、引き続き水田の高度利用を促進する取組を支援する。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

前年の需要動向や集荷業者との意向を勘案して、減農薬、減化学肥料等による「安心・安全・健康」をテーマに、高品質で消費者や需要者のニーズに即した生産体系を目指し、同一品種の団地化や栽培方法の統一化を進め、売れる米づくりの推進を図る。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

主食用米の需要減が見込まれる中、飼料用米を転換作物に位置づけ、産地交付金を活用し担い手に集積して生産向上と推進を図る。

イ 加工用米

主食用米の需要減が見込まれる中、加工用米を転換作物に位置づけ、産地交付金を活用し担い手に集積して生産向上と推進を図る。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦については、担い手への集積を図りつつ品質評価に基づいた技術体系の改善に取組み、全農岐阜を経由する民間流通による契約栽培の円滑な推進を図る。

大豆については、担い手への集積を図りつつ全農岐阜を経由して全量出荷し、需要者ニーズに応える品質やロットの確保に努める。

(4) そば、なたね

種子更新や、作業体系の変更により収量増を目指す。地域の需要者との契約に基づき更なる作付面積の拡大を図る。

(5) 地力増進作物

ライ麦、エン麦、地力セสบانيا、地力ソルガム・スーダングラス、地力レンゲ、地力クローバー、地力イタリアングラス、地力ベッチ（基幹作）については、有機栽培又は高収益作物の転換に向けた土づくりを目的とし、地力増進作物を活用した土壌改良に取組み、品質向上とともに収量増を目指し、作付面積の拡大を図る。

(6) 高収益作物

特産振興野菜（かぼちゃ、なす、ブロッコリー、スイートコーン、ねぎ、さといも、たまねぎ、キャベツ、じゃがいも）及び加工・業務用野菜（たまねぎ、キャベツなど）について、更なる作付面積の拡大や品質向上を図り、農用地の高度利用を図る。

野菜、果樹、花き・花木についても、生産拡大を図り、農業者の収益向上を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和5年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	404.4	0	387.1	0	430.0	0
備蓄米	0	0	0	0	0	0
飼料用米	152.7	0	155.3	0	155.3	0
米粉用米	0	0	0	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0	0	0	0
WCS用稲	0	0	0	0	0	0
加工用米	0.0	0	0.0	0	30.0	0
麦	274.6	0	293.2	14.6	293.2	0
大豆	199.3	196.9	221.0	197.1	221.0	210.0
飼料作物	0	0	0	0	0	0
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	9.1	4.7	17.0	6.6	17.0	8.0
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	0	0	0	0	0	0
高収益作物	9.8	2.5	11.9	4.7	15.7	3.0
・野菜	9.7	2.5	11.8	4.7	14.9	3.0
・花き・花木	0.1	0	0.1	0	0.6	0
・果樹	0	0	0	0	0.2	0
その他	0.1	0	0	0	0.1	0
・その他作物	0.1	0	0	0	0.1	0
畑地化	0	0	0	0	0	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目 標	2022年度		2023年度	
				前年度（実績）		目標値	
1	飼料用米 加工用米	低コスト化への助成	作付面積	飼料用米	152.7ha	飼料用米	155.3ha
				加工用米	0ha	加工用米	30.0ha
				合計	152.7ha	合計	185.3ha
			生産費	飼料用米	98.0千円/10a	飼料用米	96.0千円/10a
				加工用米	-	加工用米	99.0千円/10a
2	麦 大豆	麦・大豆への助成	作付面積	麦	274.6ha	麦	293.2ha
				大豆	199.3ha	大豆	221.0ha
				合計	473.9ha	合計	514.2ha
			単収	麦	292kg/10a	麦	279.0kg/10a
				大豆	72kg/10a	大豆	117.0kg/10a
3	そば	そばへの助成	作付面積	そば	9.1ha	そば	17.0ha
			単収	そば	64.0kg/10a	そば	85.0kg/10a
4	かぼちゃ なす ブロッコリー スイートコーン ねぎ さといも たまねぎ キャベツ じゃがいも	地域振興作物への助成	作付面積	かぼちゃ	0.6ha	かぼちゃ	1.2ha
				なす	0.7ha	なす	1.2ha
				ブロッコリー	2.5ha	ブロッコリー	2.5ha
				スイートコーン	0.1ha	スイートコーン	0.3ha
				ねぎ	0.4ha	ねぎ	0.8ha
				さといも	0.6ha	さといも	0.8ha
				たまねぎ	0.2ha	たまねぎ	0.3ha
				キャベツ	0.3ha	キャベツ	0.3ha
				じゃがいも	0.3ha	じゃがいも	0.3ha
				合計	5.7ha	合計	7.7ha
5	加工用たまねぎ 加工用キャベツ	加工・業務用野菜への助成	作付面積	加工用たまねぎ	1.0ha	加工用たまねぎ	1.0ha
				加工用キャベツ	0.7ha	加工用キャベツ	1.0ha
				合計	1.7ha	合計	2.0ha
			単収	加工用たまねぎ	2.1t/10a	加工用たまねぎ	4.0t/10a
				加工用キャベツ	2.5t/10a	加工用キャベツ	4.0t/10a
6	野菜 果樹 花き・花木 その他作物	野菜等への助成	作付面積	野菜	1.9ha	野菜	7.0ha
				果樹	0.0ha	果樹	0.2ha
				花き・花木	0.1ha	花き・花木	0.6ha
				その他作物	0.1ha	その他作物	0.1ha
				合計	2.1ha	合計	7.9ha
7	麦 大豆	生産性・品質向上取組 （除草対策）に対する 加算	単収	麦	292kg/10a	麦	279.0kg/10a
				大豆	72kg/10a	大豆	117.0kg/10a
8	そば	複数年契約への助成	取組面積	そば	7.7ha	そば	17.0ha

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:岐阜県

協議会名:不破地域農業再生協議会

整理 番号	使途 ※1	作 期 等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	低コスト化への助成	1	11,000	飼料用米、加工用米	ドローンによる防除の実施等
2	麦、大豆への助成	1	1,700	麦、大豆	排水対策等
2	麦、大豆への助成(二毛作)	2	1,700	麦、大豆	排水対策等
3	そばへの助成	1	19,000	そば	排水対策等
3	そばへの助成(二毛作)	2	19,000	そば	排水対策等
4	地域振興作物への助成	1	22,500	かぼちゃ、なす、ブロッコリー、スイートコーン、 ねぎ、さといも、たまねぎ、キャベツ、じゃがいも	対象作物を出荷・販売すること
4	地域振興作物への助成(二毛作)	2	22,500	かぼちゃ、なす、ブロッコリー、スイートコーン、 ねぎ、さといも、たまねぎ、キャベツ、じゃがいも	対象作物を出荷・販売すること
5	加工・業務用野菜への助成	1	11,500	加工用たまねぎ、加工用キャベツ	排水対策等
5	加工・業務用野菜への助成(二毛作)	2	11,500	加工用たまねぎ、加工用キャベツ	排水対策等
6	野菜等への助成	1	5,000	別紙のとおり	対象作物を出荷・販売すること等
7	生産性・品質向上取組(除草対策)に対する加算	1	1,680	麦、大豆	JA等が指導する栽培方法にて除草作業を行うこと
7	生産性・品質向上取組(除草対策)に対する加算(二毛作)	2	1,680	麦、大豆	JA等が指導する栽培方法にて除草作業を行うこと
8	複数年契約への助成	1	2,500	そば	生産者と需要者で3年の複数年契約であること等
8	複数年契約への助成(二毛作)	2	2,500	そば	生産者と需要者で3年の複数年契約であること等